

第22回「口から食べたい」講演会のご案内

メインテーマ「口腔機能を支える多職種連携を考える」

伊予歯科医師会長 西本 公紀

盛夏の候、貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、来る10月21日(日)に恒例の第22回「口から食べたい」講演会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回のテーマは「口腔機能を支える多職種連携を考える」です。本会はさまざまな障がいや口から食えることが困難になった人の「口から食べたい」という思いにどう応え、どう支えるかを考える勉強会です。病院から施設や在宅へのシームレスな連携が叫ばれ、また昨今では在宅ケアを中心に据えた地域包括ケアが提唱されています。病院ではNST(栄養サポートチーム)が、施設ではミールラウンドが推奨され、栄養を踏まえた「口から食えるための支援」が急務となっております。今回は、口腔機能を支え、どう評価し、口から食えることを支援するのか、フレイル予防も考慮しながら、経験豊富なお二人の先生にお話していただきます。

まず、東京医科歯科大学大学院高齢者歯科学分野の准教授の戸原 玄先生に、病院から在宅に移行した摂食嚥下障害のある療養者に対して、食べることを評価していかにリハビリの場面に乗せるか、また、安定した在宅生活を送れるように栄養摂取の方法を見直す必要性を、地域リハビリテーションと地域の連携の観点から語って頂きます。

続いて、藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科教授の松尾浩一郎先生に、多様な健康状態を呈する高齢者の生活を守るためには、栄養と感染がキーワードであり、両方の入り口である口の機能をいかに多職種連携で支えるかを、口腔衛生管理と口腔機能管理の両側面からのオーラルマネジメントという観点から語って頂きます。

午後の部では、愛媛県の各地域で活動されている様々な職種からの発表とディスカッションを行います。まず、伊予病院S Tの田本仁美先生から回復期リハ病棟から在宅に向けての摂食嚥下障害者への取り組みを。次に、たんぽぽクリニックで在宅訪問をされている耳鼻科医の田中志昂先生に、在宅での摂食嚥下支援の取り組みを。続いて四国中央市から、あき歯科医院の加地彰人先生に、S Tや歯科衛生士とのチーム医療で取り組む在宅支援の取り組みを。最後に、市立八幡浜総合病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師の清水義貴先生に地域で最後まで口から食えることを支援する多職種のグループを立ち上げた取り組みをそれぞれお話しして頂きます。

講演後のディスカッションでは、コメンテーターに東京医科歯科大学大学院高齢者歯科学分野教授で松前町出身の水口俊介先生にも登壇して頂き、地域で多職種連携を活かしながら高齢者の口腔機能低下を防ぎ、快適に、かつ安全な生活を支えるには、どうすればよいかを考えたいと思います。

今回も、職種を超えた多くの方々の参加をお待ちしております。

敬白

第22回「口から食べたい」講演会

メインテーマ「口腔機能を支える多職種連携を考える」

日時：平成30年10月21日(日) 9:20-16:00 8:50開場・受付開始

会場：松前町総合文化センター（松前町役場東隣 TEL089-985-1313）

問い合わせ先TEL：089-984-0005(升田歯科)

演題1「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」(9:30~11:00)

講師：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻

老化制御学講座 高齢者歯科学分野

准教授 戸原 玄 先生

演題2「“食べる”が繋がる多職種連携オーラルマネジメント」(11:10~12:40)

講師：藤田保健衛生大学 医学部 歯科・口腔外科

教授 松尾 浩一郎 先生

昼休み(12:40~13:40) 昼食は各自でご用意してください。但し、客席での飲食は厳禁です。エミフルレストランまで歩いていきます。

パネルディスカッション「地域で口腔機能を支える連携とは？」(13:40~16:00)

パネラー：①伊予病院 言語聴覚士 田本 仁美先生

②たんぽぽクリニック 耳鼻咽喉科医師 田中 志昂(ゆきたか)先生

③あき歯科医院 歯科医師 加地 彰人先生

④市立八幡浜総合病院 看護師 清水義貴先生

コメンテーター：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻

老化制御学講座 高齢者歯科学分野 教授 水口 俊介先生、

戸原 玄先生、松尾 浩一郎先生

コーディネーター：升田歯科 升田 勝喜

受講料：1,000円(当日受付の場合1,500円)

*愛媛県歯科医師会中予ブロック会の会員に限り無料(従業員は有料)です。

*講演会専用駐車場はありませんが隣のエミフルMASAKIに講演会参加での駐車は了解済みです。

主催：伊予歯科医師会

共催：伊予市、松前町、砥部町、愛媛県歯科医師会中予ブロック会、日本老年歯科医学会愛媛支部

後援：愛媛県、愛媛県歯科医師会、愛媛県社会福祉協議会、松前町社会福祉協議会、愛媛県歯科衛生士会、愛媛県看護協会、愛媛県老人福祉施設協議会、愛媛県理学療法士会、愛媛県作業療法士会、愛媛県言語聴覚士会、愛媛県社会福祉士会、愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、愛媛県介護福祉士会、

愛媛新聞社、読売新聞松山支局、朝日新聞松山総局、産経新聞松山支局、毎日新聞松山支局、日本経済新聞社松山支局、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ(以上、後援申請中)

講師紹介

戸原 玄 (とほら はるか)

学歴・職歴

- 1997 : 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
- 1998-2002 年 : 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系専攻高齢者歯科学分野大学院
- 1999-2000 年 : 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座研究生
- 2001-2002 年 : ジョンズホプキンス大学医学部リハビリテーション科研究生
- 2003-2004 年 : 東京医科歯科大学歯学部附属病院高齢者歯科 医員
- 2005-2007 年 : 東京医科歯科大学歯学部附属病院高齢者歯科 助手
東京医科歯科大学歯学部附属病院摂食リハビリテーション外来 外来医長
- 2008-2013 年 : 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 准教授
- 2013- : 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻老化制御学講座高齢者歯科学分野 准教授

業績

【原著】

1. Matsubara M, Tohara T, et al: High-speed Jaw-opening Exercise for the training of fast-twitch muscle fibers related to the hyoid bone elevation during swallowing, *Clinical Interventions in Aging*, 2018
2. Kajisa E, Tohara H, et al: The relationship between jaw-opening force and the cross-sectional area of the suprahyoid muscles in healthy elderly, *J Oral Rehabil*, 2017
3. Tagashira I, Tohara H et al: A new evaluation of masticatory ability in patients with dysphagia: The Saku-Saku Test, *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 2017
4. Yamazaki Y, Tohara H et al: The excessive anterior cervical muscle tone affects hyoid bone kinetics during swallowing in healthy individuals, *Clin Intervent Aging*, 2017
5. Wakasugi Y, Tohara H et al: Can grip strength or walking speed be the simple indicators of the deterioration of tongue pressure and jaw opening force in older people?, *Gerodontology*, 2017

【賞】

1. 東京医科歯科大学医療チーム功労章, 2015 年 2017 年
2. 第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会 2015 年度課題口演賞
3. 老年歯科医学会雑誌 2008 年度 2014 年度優秀論文賞
4. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 2008, 2009 年度論文賞
5. 第 11, 13, 16, 17, 18, 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会奨励賞

【理事・評議員】

Peg Doctors Network 理事

日本老年歯科医学会理事 (摂食嚥下リハビリテーション委員長・編集委員・学術用語委員)

日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員 (教育委員・学術委員)

日本障害者歯科学会評議員 (摂食・嚥下リハビリテーション検討委員会・学術研究推進委員)

早期認知症学会評議員

抗加齢医学会評議員

【認定医・専門医】

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士

日本老年歯科医学会認定医および認定医指導医

日本老年歯科医学会専門医および専門医指導医

松尾 浩一郎（まつお こういちろう）

【略歴】

- 1999年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 1999年 同 大学院 高齢者歯科学分野 入局
- 2002年 米国ジョーンズホプキンス大学医学部リハビリテーション講座 研究員
- 2005年 米国ジョーンズホプキンス大学医学部リハビリテーション講座 講師
- 2008年 松本歯科大学障害者歯科学講座 准教授
- 2013年 藤田保健衛生大学医学部歯科 教授
- 2018年 藤田保健衛生大学医学部歯科・口腔外科学講座 教授（～現在）

【専門分野】

老年歯科，障害者歯科，摂食嚥下リハビリテーション

現在，急性期病院における歯科で，入院患者に対しての歯科診療，口腔ケア，摂食嚥下リハビリテーションなどの診療に携わる。

【学会，学術活動】

日本老年歯科医学会，日本障害者歯科学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，国際障害者歯科学会（iADH），アメリカ嚥下学会（DRS）などの会員，理事など。

【著 書】

若手歯科医師のための高齢者歯科ハンドブック（医歯薬出版，2016），
プロセスモデルで考える摂食・嚥下リハビリテーションの臨床（医歯薬出版，2013）など。